

質問にお答えします

Q1 一生のうち、子宮頸がんになる人は何人いるの？

A 1万人のうち、132人です。
(70人に1人の割合)

Q3 17歳以上でも接種する意味はあるの？

A 17歳～30歳での接種でも、子宮頸がん罹患率が低下することが示されています。

Q5 自費で受けるといくらかかるの？

A ワクチンの種類や医療機関にもよりますが、約5～10万円かかります。

Q2 キャッチアップ接種って何？

A 接種案内が差し控えられていた期間に定期接種を逃した世代に対し、無料接種の機会を提供することです。

Q4 ワクチンはどこで接種できるの？

A 産婦人科・小児科・内科などで接種できます。詳しくはお住まいの市町村のホームページなどをご確認ください。

Q6 ワクチンについての不安や相談したいときはどうすればいいの？

A 下記に記載の相談窓口にご連絡ください。

● 相談窓口 ●

予防接種の受け方、受けられる医療機関等について
お住まいの市町村に御相談ください。

不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき
受診等に関すること：

宮崎県感染症対策課 TEL 0985-44-2620

学校生活に関すること：

宮崎県スポーツ振興課 TEL 0985-26-7248

接種後に、健康に異常があるとき

接種を行った医師・かかりつけ医に御相談ください。



【作成】 宮崎県／宮崎県医師会／宮崎県産婦人科医会

令和6年5月改訂

しぎゅうけい 子宮頸がんからこの子を守る、自分を守る HPVワクチンを

子宮頸がん予防 HPVワクチン

MIYAZAKI

無料で接種できる対象

2024年度12歳～27歳の女性

* 1997年度～2007年度生まれの方は、3回目まで無料で接種するためには2024年9月までには1回目の接種を開始しましょう。

詳しくは宮崎県ホームページへ



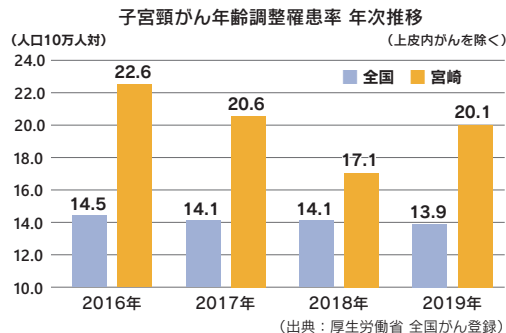
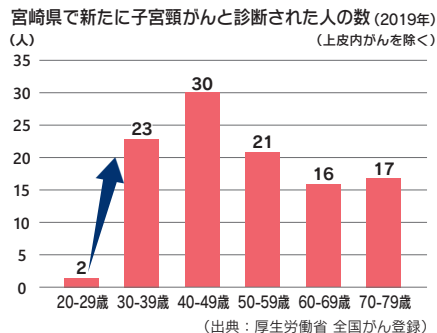
宮崎県 HPV



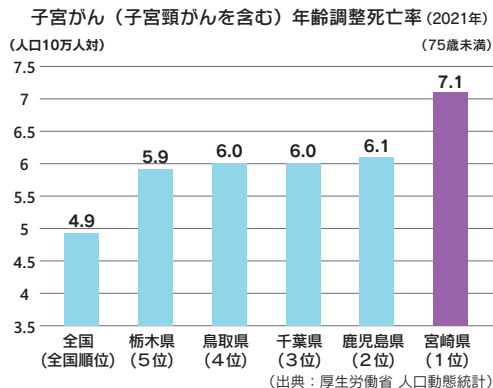
宮崎県子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン接種緊急対策事業

この子を守る

宮崎県の子宮頸がんの現状



子宮頸がんは20代から30代で急増するがんです。宮崎県の子宮頸がん罹患率は全国ワースト1位です。(※2019年時点)



■ 宮崎県は子宮がん(子宮頸がんを含む)の年齢調整死亡率も全国ワースト1位です。(2021年時点)



自分を守る

子宮頸がんの予防と早期発見のために!

ワクチン接種

子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぎます。



子宮頸がん検診

がんの早期発見・治療につながります。ワクチンを接種していても、20歳以上の方は2年に1回、検診を受けることが大切です。

無料接種対象者

定期接種対象者



小学校6年生～
高校1年生相当の女子

キャッチアップ接種対象者 (2024年度)



1997年度～2007年度生まれの女性
(2024年度対象)

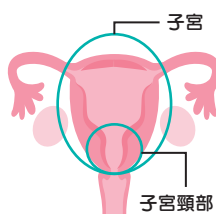
子宮頸がんの原因=HPV(ヒトパピローマウイルス)

HPV

性交渉により女性の多くが一生涯に一度は感染すると言われているウイルスです。



子宮頸がんの原因の95%以上はHPVの感染によるものです。



ワクチン接種回数・期間

- 接種回数：2～3回(接種開始年齢によって異なります)
- 接種に要する期間：最短およそ6か月(一定の間隔を空けて接種が必要)

接種についての相談は・・・お住まいの市町村・医療機関へ

